

# 平成29年度自己評価結果公表シート

学校法人清泉学園 ひばり幼稚園

## 1. 本園の教育目標

知育・体育・徳育の調和の中で、総合的な活動を通し、心身の成長を育む。  
 ・プール、体育で健康な心身を育てる  
 ・音楽リズム、絵画制作等を通して優雅な情操を養う。  
 ・自然観察をする機会を多くする。  
 ・昔からの行事を生かして、郷土に密着した教育につとめる。

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

・本園の教育課程、指導計画の再確認を行い、内容を検討し、自己評価・自己点検を実施することにより、教員自ら客観的に自園を見る目を養い、保育内容の改善、施設の改善に取り組む。  
 ・研修等を通じ、教員の専門性・資質を向上し、保育に反映する。

## 3. 評価項目及び取り組み状況

| 評価項目  | 取組状況  |
|---|---|
| 教育課程の編成・実施に関して、教職員間の共通の理解をはかる。                | 本園の教育課程の再確認・見直しをし理解を深め、園長・学年主任でねらいをたて、保育に反映させている。   |
| 教育課程・子供も実態等に基に、指導計画を作成する。                     | 教育課程に基に、学年毎に指導計画を作成し、保育に反映させる。<br>課題を学年毎に園長と話し合い、子供の実態即した内容に加筆・訂正を行う。   |
| 子供の実態を的確につかみ、具体的に手立てを講じ保育を進める。                | 教員は日々保育記録を参考にし、子供の実態を把握し、日案の作成に反映させる。   |
| 教員の資質、教育の向上のために、研修等に積極的に参加する。                 | 夏休みを利用し、園外の研修に積極的に参加している。全員が参加できない場合は、職員会議等において提供し、共有化を図るようにする。園内では、音楽・マーチング・体育の研修を実施。また、学期毎の職員会議に加え、各行事の反省会や日々の日礼で、気づいたことを話し合い、教員一人一人の資質の向上につなげる。  |
| 保育・行事を通して、工夫したり、友だちと協力することの喜び、大切さを感じ、達成感を味わう。 | 自ら工夫したり、友達との協力する喜び・大切さを感じられる保育環境・保育を準備・提供する。  |
| 学期毎に各クラスの運営成果と課題を報告す、全職員が把握する。                | 各クラスでの月や週の目標を定め、毎学期毎に達成状況を報告し合う。  |
| 子育て支援の充実                                      | 日々の預かり保育を実施し、保護者の急な用事（兄弟の学校行事等）に対応する。また、仕事をお持ちの方、お持ちでない方も、余裕をもった子育てができるように預かり保育を活用して頂く。<br>夏休み期間中の預かり保育の内容をさらに見直し、普段の保育ではできないような活動を取り入れている。結果、多くの方に利用して頂いている。<br>長期休暇中のなかよし教室実施のニーズは年々多くなっている。できるだけ、多くの日数を実施できるよう検討する必要がある。<br>また、未就園児教室（2歳児）、未就園児親子教室（2歳児）も内容を見直し、子育て支援の充実をはかった。 |
| 防災・安全対策の充実                                    | 消防署の方にご協力頂き、火災避難訓練・地震避難訓練を実施しました。また、実際に消防署に出向き、防災訓話を聞いたり、施設、車両の説明を受け、より一層防災に対する意識が高まった。<br>また、安全面では、ヤマト運輸の方にご協力頂  |

|                             |  |
|-----------------------------|--|
|                             | <p>き、より実践に近い交通安全指導をすることができた。これらの取り組みから、園児・教職員に安全に対する、より一層の意識・課題を確認することができました。</p> <p>また、教室内の環境等を見直し、また、地震発生時の対応、園児をどのように誘導し避難させるかも再確認しました。</p> <p>課題は、各学年で園児と話し合い持ち、改善に努めました。</p>  |
| 園だよりやおたよりをとおして、幼稚園の情報を発信する。 | 園の教育方針や取り組み内容を情報発信するように、園だよりやおたよりに記載し、より一層積極的に取り組んでいく。   |
| 小学校・大学や地域との連携について           | <p>11月に、進学に向けて、年長組は和気小学校に訪問した。小学校の先生に案内して頂き、見たり、聞いたりし、進学への期待を膨らますことができた。</p> <p>桃山学園大学の学園祭に訪問し、学生たちの催しを見学し、交流を持った。</p> <p>和泉市主催のIZUMIキッズフェスティバルに参加予定でしたが、雨天のため中止となった。</p> <p>地域とのつながりにおいては、非常に良い機会ですので、次年度以降も機会があれば参加を検討したい。</p> |

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

|  |
|--|
| <p>教育課程の再確認・見直し、行事毎の反省会、日々の職員会議を通し、保育の取り組むべき課題と園の方針を、全職員が理解を深め、共有化することができた。</p> <p>また、それぞれ教員が自己評価し、取組状況を報告し合う事を通じ、各々の課題を具体的に確認することができた。また、全職員が、園児一人ひとりの情報を共有し、園児に対してのかかわり方、保育活動の進め方の理解を深めることができた。引き続き、実践していきたい。</p> <p>園外研修にも積極的に参加し、教員一人一人の資質の向上でき、専門性を高めることができた。</p> <p>子育て支援については、毎年内容の見直しをし、より一層充実をはかった。</p> |
|--|

#### 5. 今後の取り組むべき課題

| 課 題                                      | 具体的な取組方法  |
|--|---|
| 教職員のより一層の資質・専門性の向上                       | 教職員の資質・専門性の維持をはかると共に研修等へ積極的に参加し、より一層の資質・専門性の向上につなげ、保育に反映させる。      |
| 教員としての基本姿勢を周知徹底                          | 全教職員がよく理解できていることではあるが、今一度各々が再確認に、保育に努める。                          |
| 新幼稚園教育要領を踏まえ、園の教育方針・教育理念に従い、教育課程・指導計画の編成 | 昨年同様に、新教育要領の理解に努め、教育課程・指導計画を加筆し、園を取り巻く環境や子どもの実態に即した新たな計画の編成に取り組む。 |

#### 6. 学校関係者評価委員会の意見

|                               |
|-------------------------------|
| 特に指摘する事項もなく、適切に運営されていると認められる。 |
|-------------------------------|

#### 7. 財務状況

|                               |
|-------------------------------|
| 公認会計士監査により、適正に園運営されていると認められた。 |
|-------------------------------|